私費外国人留学生用	申請区分	前期

※ 印の箇所は該当のものを○で囲むこと。該当箇所はすべて正確に記入すること。記入内容が虚偽であったり，該当箇所の記入漏れ等が大量にある場合は授業料免除申請を受け付けれない場合があります。また，内容について大学より問い合わせを行う場合があります。

（様式２−２）

令和５年４月現在の生活状況を記入すること

令和５年度前期分

家　庭　状　況　調　書

太枠内は大学記入欄

学籍番号		回生

フリガナ		④　専攻等	□初等教育（ 幼児・小学校 ）専攻【 昼間 】ｺｰｽ
③氏名		※□は✔を，該当するものには○をつけ，専攻・ｺｰｽは記入してください。	□学校教育教員養成課程（　　）専攻【　　】ｺｰｽ
			□特別支援教育教員養成課程　□養護教諭教員養成課程
			□教育協働学科 ・ 教養学科（　　）専攻【　　】ｺｰｽ　□特別支援教育特別専攻科
⑤休学期間	自　年　月		□大学院 教育学研究科【　　】コー　□大学院 連合教職実践研究科
	至　年　月	⑥本人現住所	〒 ※ 自宅 ・ 寮 ・ 下宿 ・ その他　TEL　（　）
【休学理由】		⑦家 族 住 所	〒 TEL　（　）

⑧家族状況（日本と本国にいる家族全員について記入してください。）

1．収入について・・・（A）（B）（C）欄については，日本で働いて収入を得ている家族についてのみ記入してください。

2．本国，日本（同居・別居）欄の該当事項に○印をつけてください。

	続柄	※ 本国・日本（同居・別居）	氏　名	年令	現在の職業	(A)在職期間	勤　務　先　名	⑨ 収入状況（年収） (B) 給与所得等の総収入額 税込支払金額	所得金額（千円）	(C) 給与所得以外の総収入額 税込支払金額	所得金額（千円）
就学者を除く世帯構成員	父	本国・日本（同居・別居）				年　か月					
			※死亡・生別・退職等の場合（　年　月　死亡 ・ 生別 ・ 退職）								
	母	本国・日本（同居・別居）				年　か月					
			※死亡・生別・退職等の場合（　年　月　死亡 ・ 生別 ・ 退職）								
		本国・日本（同居・別居）									
		本国・日本（同居・別居）									
		本国・日本（同居・別居）									

	続　柄		氏　名	年令	在学学校名	※ 設　置　者		学年	※通学別	※前年度授業料免除状況 前期分	後期分	控除金額 千円
就学者	本人				大阪教育大学	(国)・公・私	小・中・高・高専・専修（高等・専門）・(大学)		自宅・自宅外	全免・半免 不許可・申請なし	全免・半免 不許可・申請なし	
		日本（同居・別居）				国・公・私	小・中・高・高専・専修（高等・専門）・大学		自宅・自宅外	全免・半免 不許可・申請なし	全免・半免 不許可・申請なし	
		日本（同居・別居）				国・公・私	小・中・高・高専・専修（高等・専門）・大学		自宅・自宅外	全免・半免 不許可・申請なし	全免・半免 不許可・申請なし	
		日本（同居・別居）				国・公・私	小・中・高・高専・専修（高等・専門）・大学		自宅・自宅外	全免・半免 不許可・申請なし	全免・半免 不許可・申請なし	

本人の就業（アルバイト）状況・・・出願時現在に就いているもので今後も続ける予定のものについて記入してください。

就職先【　　】　職種【　　】　就業期間　【　　年　　月から現在まで】　月額　【　　円】

就職先【　　】　職種【　　】　就業期間　【　　年　　月から現在まで】　月額　【　　円】

⑩本人の状況

※前年度に受給した奨学金を記入してください。

私費外国人留学生学習奨励費　（月額　　円）　年　月～　年　月

その他（名称；　　）（月額　　円）　年　月～　年　月

合計　円

※今年度，受給する奨学金を記入してください。

私費外国人留学生学習奨励費　（月額　　円）　年　月～　年　月

その他（名称；　　）（月額　　円）　年　月～　年　月

合計　円

国際室担当者確認印　㊞

家計状況（日本での収入・支出状況を記入してください）　家族数【　　】人　収入基準額【　　】

収入（最近３か月間の１か月平均収入）			支出（最近３か月間の１か月平均支出）	
（１）親族等からの援助の有無 ※ ある ・ ない ※ 本国から・日本国内から			（１）食　費	円
援助がある場合　（続柄；　　）	円		（２）住居費　家　賃	円
			電気・ガス・水道	円
（２）給与・アルバイト等	円			
（３）奨学金	円		（３）交通費・修学費	円
（４）その他（　　）	円		（４）その他（　　）	円
収入の計	円		支出の計	円

本国からの送金等の申立

⑪特別控除（下記の事項の家庭状況に該当する者は，※該当欄に○印又は記入してください。）本人及び日本で同居している家族について記入してください。

※ 有 ・ 無	障害のある人がいる世帯	【続柄；　　，　　人 】	
※ 有 ・ 無	長期に療養を要する人（6か月以上療養中の人，療養を必要とする人）のいる世帯	【※入院・通院・自宅療養】【続柄；　　】	千円
※ 有 ・ 無	主に家計を支えている日本在住の者が別居している世帯（別居による住居・光熱水費）	【続柄；　　】	千円
※ 有 ・ 無	火災・風水害又は盗難などの被害を受けた世帯	【※火災・風水害・盗難】【災害年月日；　年　月　日】	千円
※ 有 ・ 無	父母以外の者で所得を得ている者のいる世帯		

特別選考の申請	有 ・ 無	1（里親委託等）・2（障害者あり）・3（長期療養者あり）・4（自己破産）・5（生活保護）・6（その他）	適　格 ・ 不適格
学力・単位数	・	所　得　　控　除　　総所得　　家計評価額	適　格 ・ 不適格

色がついた部分は大学記入欄

記入例

私費外国人留学生用

申請区分	前期

※ 印の箇所は該当のものを○で囲むこと。該当箇所はすべて正確に記入すること。記入内容が虚偽であったり，該当箇所の記入漏れ等が大量にある場合は授業料免除申請を受け付けれない場合があります。また，内容について大学より問い合わせを行う場合があります。

（様式２－２）

令和５年４月現在の生活状況を記入すること

令和５年度前期分

家　庭　状　況　調　書

太枠内は大学記入欄

学籍番号	22××××	1 回生

フリガナ	○ ○ ○ ○	④ 専攻等	□初等教育（ 幼児・小学校 ）専攻【 昼間 】ｺｰｽ
③氏名	○ ○ ○ ○	※□は✔を，該当するものには○をつけ，専攻・ｺｰｽは記入してください。	□学校教育教員養成課程（　　）専攻【　　】ｺｰｽ □特別支援教育教員養成課程　□養護教諭教員養成課程 □教育協働学科 ・ 教養学科（　　）専攻【　　】ｺｰｽ　□特別支援教育特別専攻科 ☑大学院 教育学研究科【 教育協働教育 】コース　□大学院 連合教職実践研究科
⑤休学期間	自　年　月 至　年　月	⑥本人現住所	〒582-0026　柏原市旭ケ丘×－×－× ※自宅・学寮・下宿・その他　TEL　072（978）××××
【休学理由】	休学期間のある場合は必ず記入すること	⑦家 族 住 所	〒　必ず、母国の家族の住所を記入すること　TEL　（　　）

⑧家族状況（日本と本国にいる家族全員について記入してください。）

1．収入について・・・（A）（B）（C）欄については，日本で働いて収入を得ている家族についてのみ記入してください。

2．本国，日本（同居・別居）欄の該当事項に○印をつけてください。

	続柄	※ 本国・日本（同居・別居）	氏名	年令	現在の職業	(A)在職期間	勤務先名	⑨収入状況（年収）(B)給与所得等の総収入額 税込支払金額	所得金額（千円）	(C)給与所得以外の総収入額 税込支払金額	所得金額（千円）
就学者を除く世帯構成員	父	(本国)・日本（同居・別居）	○○○○	48	○○○○	20年　か月	××××				
			※死亡・生別・退職等の場合（　年　月　死亡・生別・退職）								
	母	(本国)・日本（同居・別居）	○○○○	47	無職	年　か月					
			※死亡・生別・退職等の場合（　年　月　死亡・生別・退職）								
	兄	(本国)・日本（同居・別居）	○○○○	29	○○○○	3年　か月	××××				
		本国・日本（同居・別居）									
		本国・日本（同居・別居）									

母国に住む家族の収入は記入しないこと。日本で同居している家族に収入がある場合は必ず記入すること。

同居する家族がいない場合は「自宅外」を○で囲むこと

	続柄	氏名	年令	在学学校名	※設置者		学年	※通学別	※前年度授業料免除状況 前期分	後期分	控除金額 千円
就学者	本人	○○○○	21	大阪教育大学	(国)・公・私	小・中・高・高専・専修（高等・専門）・大学	3	自宅・(自宅外)	(全免)・半免 不許可・申請なし	(全免)・半免 不許可・申請なし	
	日本（同居・別居）				国・公・私	小・中・高・高専・専修（高等・専門）・大学		自宅・自宅外	全免・半免 不許可・申請なし	全免・半免 不許可・申請なし	
	日本（同居・別居）				国・公・私	小・中・高・高専・専修（高等・専門）・大学			全免・半免	全免・半免	
	日本（同居・別居）				国・公・私	小・中・高・高専・専修（高等・専門）・大学			免・半免	免・半免	

日本に在住の家族のみ記入すること

「アルバイト収入証明書」「源泉徴収票」「3か月分の給与明細書」のいずれかを提出すること

本人の就業（アルバイト）状況・・・出願時現在に就いているもので今後も続ける予定のものについて記入してください。

就職先【 ○○○○ 】　職種【アルバイト 】　就業期間　【令和元　年１０月から現在まで】　月額　【 70,000 円】

就職先【　　】　職種【　　】　就業期間　【　年　月から現在まで】　月額　【　円】

⑩本人の状況

※前年度に受給した奨学金を記入してください。

私費外国人留学生学習奨励費　（月額 48,000 円）令和２年４月～令和３年３月

その他（名称；　）（月額　円）　年　月～　年　月

合計 576,000 円

※今年度，受給する奨学金を記入してください。

私費外国人留学生学習奨励費　（月額 48,000 円）令和３年４月～令和４年３月

その他（名称；　）（月額　円）　年　月～　年　月

合計 576,000 円

国際室担当者確認印

2回生以上の学生は，本学の国際室の担当者の確認印をもらうこと

㊞

家計状況（日本での収入・支出状況を記入してください）　家族数【　】人　収入基準額【　】

収入（最近３か月間の１か月平均収入）		支出（最近３か月間の１か月平均支出）	
（1）親族等からの援助の有無	※(ある)・ない ※(本国から)・日本国内から	（1）食　費	円 50,000
援助がある場合　（続柄；父）	円 30,000	（2）住居費　家　賃	円 50,000
（2）給与・アルバイト等	円 70,000	電気・ガス・水道	円 10,000
（3）奨学金	円 48,000	（3）交通費・修学費	円 25,000
（4）その他（　）		（4）その他（医療費・部活動費）	円 13,000
収入の計	円 148,000	支出の計	円 148,000

①

該当するものを○で囲むこと

本国からの送金等の申立

（記入例）本国から１年に２回、４月と１０月に１８０，０００円ずつ送金してもらっている。

※上欄①は「家計状況調書（様式３）」②欄と同じ内容を記入すること。

⑪特別控除（下記の事項の家庭状況に該当する者は，※該当欄に○印又は記入してください。）本人及び日本で同居している家族について記入してください。

※ 有・無	障害のある人がいる世帯	【続柄；　，　人】	
※ 有・無	長期に療養を要する人（6か月以上療養中の人，療養を必要とする人）のいる世帯	【※入院・通院・自宅療養】【続柄；　】【必要経費療養費；１か月平均約　円】	千円
※ 有・無	主に家計を支えている日本在住の者が別居している世帯（別居による住居・光熱水費）	【続柄；　】	千円
※ 有・無	火災・風水害又は盗難などの被害を受けた世帯	【※火災・風水害・盗難】【災害年月日；　年　月　日】	千円
※ 有・無	父母以外の者で所得を得ている者のいる世帯		

特別選考の申請	有・無	1（里親委託等）・2（障害者あり）・3（長期療養者あり）・4（自己破産）・5（生活保護）・6（その他）								適格・不適格	
学力・単位数	・	所得		控除		総所得		家計評価額		適格・不適格	